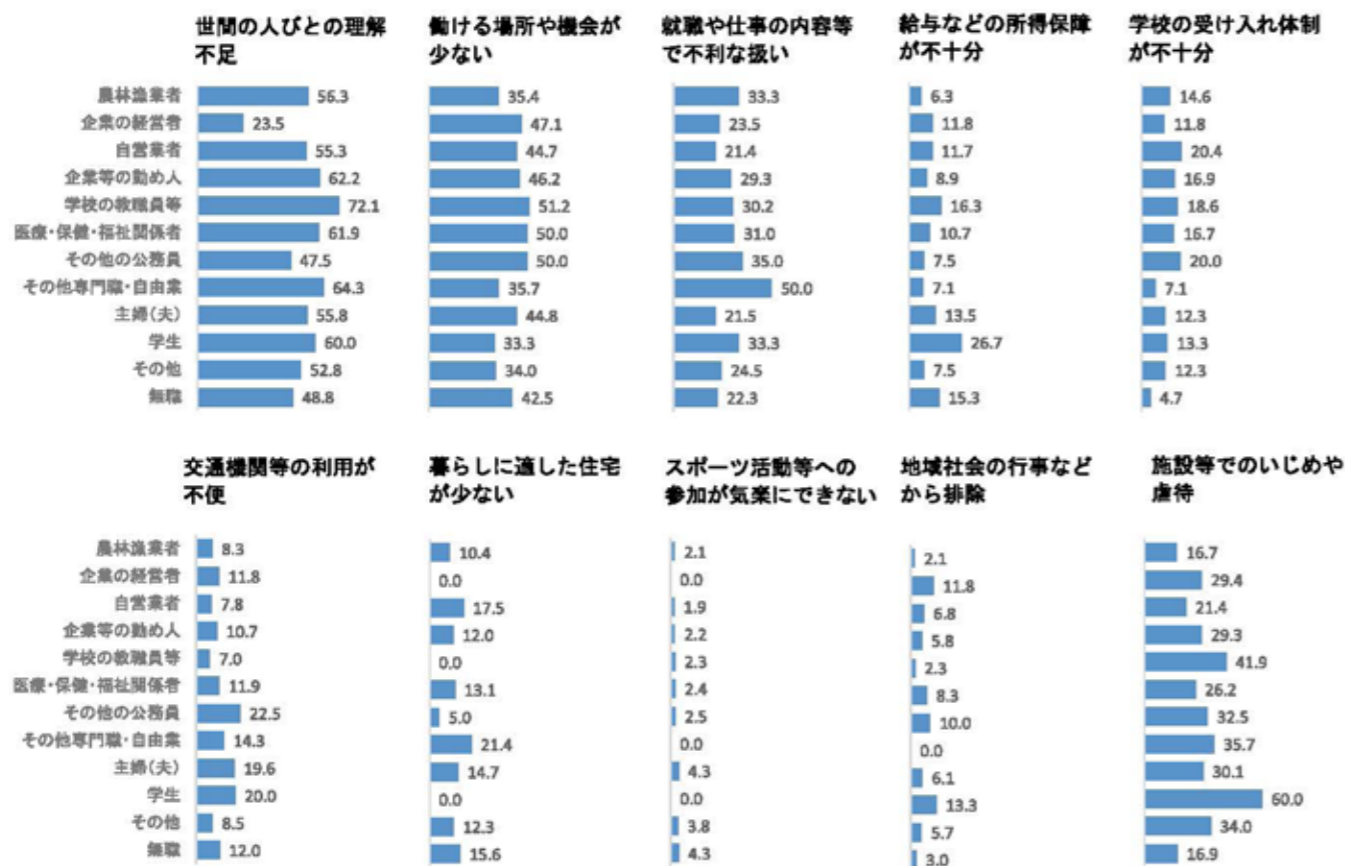


表10-3 職業別

	合計	世間の人びとの理解不足	働く場所や機会が少ない	就職や仕事の内容等で不利な扱い	給与などの所得保障が不十分	学校の受け入れ体制が不十分	交通機関等の利用が不便	暮らしに適した住宅が少ない	スポーツ活動等への参加が気楽にできない	地域社会の行事などから排除	施設等でのいじめや虐待
農林漁業者	48	56.3	35.4	33.3	6.3	14.6	8.3	10.4	2.1	2.1	16.7
企業の経営者	17	23.5	47.1	23.5	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	29.4
自営業者	103	55.3	44.7	21.4	11.7	20.4	7.8	17.5	1.9	8.8	21.4
企業等の勤め人	225	62.2	46.2	29.3	8.9	16.9	10.7	12.0	2.2	5.8	29.3
学校の教職員等	43	72.1	51.2	30.2	16.3	18.6	7.0	0.0	2.3	2.3	41.9
医療・保健・福祉関係者	84	61.9	50.0	31.0	10.7	16.7	11.9	13.1	2.4	8.3	26.2
その他の公務員	40	47.5	50.0	35.0	7.5	20.0	22.5	5.0	2.5	10.0	32.5
その他専門職・自由業	14	64.3	35.7	50.0	7.1	7.1	14.3	21.4	0.0	0.0	35.7
主婦(夫)	163	55.8	44.8	21.5	13.5	12.3	19.6	14.7	4.3	8.1	30.1
学生	15	60.0	33.3	33.3	26.7	13.3	20.0	0.0	0.0	13.3	60.0
その他	106	52.8	34.0	24.5	7.5	12.3	8.5	12.3	3.8	5.7	34.0
無職	301	48.8	42.5	22.3	15.3	4.7	12.0	15.6	4.3	3.0	16.9

	地域での福祉サービスが不十分	その他	特になし	わからない
農林漁業者	10.4	0.0	6.3	12.5
企業の経営者	11.8	0.0	23.5	5.9
自営業者	15.5	1.9	1.9	8.7
企業等の勤め人	8.9	0.9	2.2	6.2
学校の教職員等	14.0	4.7	0.0	2.3
医療・保健・福祉関係者	15.5	0.0	1.2	2.4
その他の公務員	10.0	0.0	2.5	2.5
その他専門職・自由業	7.1	7.1	0.0	0.0
主婦(夫)	10.4	0.6	1.2	4.3
学生	20.0	0.0	0.0	0.0
その他	16.0	0.0	1.9	9.4
無職	12.6	1.3	5.0	12.3

図10-5 職業別



職業別で上位3項目を個別に見ると、「世間の人びとの理解不足」は学校の教職員等72.1%、「働く場所や機会が少ない」は学校の教職員等51.2%、「就職や仕事の内容等で不利な扱い」はその他の専門職・自由業50.0%でそれぞれ最も多くなっている。

他の個別の項目では、「施設等でのいじめや虐待」で学校の教職員等、学生が平均と10ポイント以上の差が現れている以外、職業別での大きな差は見られない。

◆「その他」の主な記述内容

◎障害者を受け入れてくれる施設等はありませんが、障害者を受け入れてくれる病院は少ないと思う。例えば、精神障害者のケガの入院等、受け入れてくれる病院は限られており、また食事を口から出来なくなり施設では対応できず病院探しに時間がかかり、障害者というだけで受け入れてくれる病院は少ない。(県北/女/50歳代/自営業)

◎公衆トイレにユニバーサルシートがなく、重度の障害がある人が長時間出かけられないこと。行き先が限られること。(県央/女/30歳代/教職員等)